

10月

パシオン通信 10月号

新人奮闘記 システム開発部 K・Y

パシオンに入社してから半年が経ち現場に配属されて三ヶ月が経とうとしています。正直社会人になってからの半年間は今までの人生で一番早く過ぎた半年間だと思います。そんな私が現場で働き始めて感じたことや行った業務について書きたいと思います。

研修中のある日、突然明日客先に面談に行くということを告げられたところからスタートをし、あっという間に研修が終わり客先の現場で働く日々がスタートしました。始めの2週間ぐらいは、パソコンのセットアップやこれから携われる製品の仕様書を読み、業務理解に努めていました。しかし、その仕様書は専門的な用語ばかりでとても一人で読んで理解するのは不可能でした。なので1日に2、3回勉強会という形で仕様書の疑問点などを指導員の方に説明していただきました。正直説明を聞いた後でも理解度は3割ぐらいで、とても苦労しました。

セットアップが一通り終了してからは、いよいよ開発の仕事を開始しました。始めは基本仕様書からコーディングするために必要なフローチャートの作成を行いました。フローチャート作成は仕様書の通りに作成するだけだったのでそこまで難しくはなかったのですが、そのフローチャートのレビューにとっても苦労しました。研修中にも各工程でレビューを行ってはいたのですが、研修中のレビューは講師の方が主体で、教わるような形だったので現場でのレビューとは全然違うものでした。現場では自分が主体でレビューの方に理解してもらいアドバイスを頂くことが目的でした。システムの構造などを何も知らない状態で仕様書の通りにフローチャートを作成しただけだったので説明もできず指導員の方にフォローを入れてもらいながらレビューを終えました。それからはフローチャートをもとにコーディングを行いました。

コーディングを終えてからは関数ごとの単体テストの工程に移りました。単体テストでは現場で使われているテスト用のツールを使用しテストを行いました。そのテスト用のツールを使いこなすのにも一苦労しました。20step程しかない関数一つ消化するのに1日かかりました。フローチャート作成からコーディング、単体テストと一通りの下流工程を流れて経験できたのは良かったことだと感じました。

三ヶ月経った現在でも正直なところ各工程での作業スピードはそこまで早くなっている実感はありませんが、細かなミスは減ってきていると感じています。徐々にではありますが力がついてきたことは実感しています。まだまだ始まったばかりですが前向きに続けていきたいと思っています。



おまけ

最近休みの日や会社から帰ってきた時の楽しみがあります。それは、甥と姪です。今年の2月に姉が二卵性の双子を出産しており実家で子育てをしています。その双子を可愛がるのが今一番の楽しみです。現在7ヶ月ほどでハイハイはしないのですが動きが活発になってきてとても可愛いです。適当な目線を入れた双子コレクションです



目次

目次	
新人奮闘記	1
旧東海道（の一部）を歩く	2～3
セキュリティ自己診断	3
10年ぶりくらいの小旅行	4



旧東海道（の一部）を歩く システム開発部 S・S



ある日の帰宅途中、電車内で雑談が聞こえてきました。その内容は旧東海道を踏破することで、今は品川宿から川崎宿まで進んでいる様子でした。旧東海道は歌川広重の作品「東海道五十三次」で描かれているように53の宿場が存在していたので、この話を聞いた時は実際に歩く人がいるんだと感じました。職場への通勤以外であまり出歩かない自分には真似できないですが。（ちなみに江戸時代で旧東海道を利用した旅程は、平均2週間ほどだったようです）

ただ、興味はあったのでインターネットで調べたところ、実際に歩いてみた人は結構いるようで、さらに宿場町と宿場町の間であればそこまで距離はないと感じました。そこで、宿場町と宿場町の間ぐらいなら歩けるかもと検討したのですが、それでも何時間か歩くことになるため、どうしようかと考えていたところ、比較的行きやすい品川宿を散策することで、旧東海道（の一部）を体験できるかもと思いつき、実際に行ってきました。

品川宿は、北品川宿、南品川宿、歩行新宿の3宿が存在しました。旧東海道の起点である江戸・日本橋から数えて1番目の宿場町で、場所は現在の京浜急行線の北品川駅から青物横町駅辺りが該当します。今回は品川駅から歩いて、歩行新宿→北品川宿→南品川宿と進み、史跡等を巡ってきました。



【八ツ山橋】

【八ツ山橋】

品川駅から横浜方面に向かう途中にある橋です。橋の下をJ R線、上を京浜急行線が通っています。橋には旧東海道の文字がありました。

【土蔵相模】

土蔵相模は「相模屋」という名の旅籠（妓楼）の通称です。案内版によると御殿山の英国公使建設に際し攘夷論者



【土蔵相模】

の高杉晋作らがこの場所で密議を行い、焼き討ちを実行したそうです。

【品海公園】

ここの石柱に「日本橋より二里」「川崎宿へ二里半」とあります。二里は約7.9キロメートル、二里半は約9.8キロメートルになります。



【品海公園】

【品川宿本陣跡】

主に武家の宿泊先が本陣と呼ばれていました。江戸時代から明治になり宿場が廃止されましたが、ここは明治天皇の行幸で行在所となったため、公園となった現在は「聖蹟公園」と呼ばれています。



【品川宿本陣跡】



【鯨塚】

【鯨塚（利田神社）】

品川宿は海の近くにあったのですが（現在の品川駅辺りは埋立地）、寛政10年に鯨が迷い込み漁師が捕獲しました。その後、供養のため捕獲した鯨の骨を埋めた上に供養碑が建てられました。

【品川橋】

この橋から青物横丁駅方面が南品川宿になります。下を流れる目黒川を境として南北の宿場を分けていたため、境橋とも呼ばれていました。



【品川橋】

次ページへ





前ページより

【荏原神社】

大きな恵比寿様の像が目立つ神社です。なお、明治天皇の行幸では三種の神器のひとつである八咫鏡を祀る内待所とされました。

今回散策した場所の殆どは、商店街やマンション等になり宿場町の面影は無くなっていますが、それでも旧東海道の雰囲気を感じることができました。また、時間の関係で御殿山などまだ見ていない場所もあるので、機会があれば再度行ってみようと思います。



【荏原神社】

【おまけ】

八ツ山橋近くに石柱が53個あります。一定間隔毎に置かれ、それぞれ「品川」「川崎」「神奈川」と続き、最後に「大津」と記されています。各宿場町が記されたここを通れば旧東海道を踏破したことになる・・・かもしれません。
(宿場町のみらしく、旧東海道の起点である江戸・日本橋と終点の京・三条大橋は石柱がありませんでした)



【おまけ 石柱】

セキュリティ自己診断

2019年IPAが提供する自己診断の一部です。真摯に自己診断してみましょう。

Part 1 基本的対策

- 1 パソコンやスマホなど情報機器のOSやソフトウェアは常に最新の状態にしていますか？
- 2 パソコンやスマホなどにはウイルス対策ソフトを導入し、ウイルス定義ファイル（コンピュータウイルスを検出するためのデータベースファイル「パターンファイル」とも呼ばれる）は最新の状態にしていますか？
- 3 パスワードは破られにくい「長く」「複雑な」パスワードを設定していますか？
- 4 重要情報（営業秘密など事業に必要で組織にとって価値のある情報や顧客や従業員の個人情報など管理責任を伴う情報のこと）に対する適切なアクセス制限を行っていますか？
- 5 新たな脅威や攻撃の手口を知り対策を社内共有する仕組みはできていますか？

Part 2 従業員としての対策

- 6 電子メールの添付ファイルや本文中のURLリンクを介したウイルス感染に気をつけていますか？
- 7 電子メールやFAXの宛先の送信ミスを防ぐ取り組みを実施していますか？
- 8 重要情報は電子メール本文に書くのではなく、添付するファイルに書いてパスワードなどで保護していますか？
- 9 無線LANを安全に使うために適切な暗号化方式を設定するなどの対策をしていますか？
- 10 インターネットを介したウイルス感染やSNSへの書き込みなどのトラブルへの対策をしていますか？
- 11 パソコンやサーバーのウイルス感染、故障や誤操作による重要情報の消失に備えてバックアップを取得していますか？
- 12 紛失や盗難を防止するため、重要情報が記載された書類や電子媒体は机上に放置せず、書庫などに安全に保管していますか？
- 13 重要情報が記載された書類や電子媒体を持ち出す時は、盗難や紛失の対策をしていますか？
- 14 離席時にパソコン画面の覗き見や勝手な操作ができないようにしていますか？
- 15 関係者以外の事務所への立ち入りを制限していますか？
- 16 退社時にノートパソコンや備品を施錠保管するなど盗難防止対策をしていますか？
- 17 事務所が無人になる時の施錠忘れ対策を実施していますか？
- 18 重要情報が記載された書類や重要なデータが保存された媒体を破棄する時は、復元できないようにしていますか？



いかがだったでしょうか？ 開発に関わる社員にとっては基本的なセキュリティとは存じますが、たまに日常を振り返り自らの行動をチェックことより、セキュリティ意識の向上に繋がればうれしく思います。



10年ぶりくらいの小旅行 システム開発部 M・Y

先月末に鎌倉に行ってきました。
もうかれこれ何年ぶりでしょう、多分小中学校とかそこらへんの時に行ったような気がします…。一番は当時の状況を鮮明に覚えていれば面白いですが流石に覚えてないですね…笑

ただ大仏へ行くまでの道は意外と覚えていました。近づくごとに(あー、こんな場所あったな)と思い出し大仏のいる高德院の近くの売店で小さな大仏のお土産を二つ買ったな…ってところまで…

大仏前に煙を体に纏ってご利益あるやつとか、大仏の中に入れるとか。人が入る都合から大仏の背中が空気の入れ替えのためにロボット

の羽みたいになって空いてるとか。
当時注目、アクション起こしたところは案外覚えているんですね…。

正直たぶん10年以上前とかのはずなのに…。

やはり昔と今では着目点が微妙に違い、「大仏デカイ(小並感)」からお金払って中に入るの多少は「この時代に建てられたのか〜」程度の歴史には注目してました笑



他には銭洗弁天を紹介してもらい行ってきました。この場所では名前の通り、お金を洗うのですが、洗う事でご利益を得て金運をあげようという目的です。千円などのお札は流石に(中には洗う人もいます)が無事に持って帰れる気がしないのでお札はやめて小銭だけ洗って持ち帰りました笑



鎌倉となると昔は住まいの関係からもバスで行く小〜中旅行…の筈でしたけど今では40分しないくらいの距離なのでもはや小旅行ですらないんだな〜と生活圈の変化を感じます笑

後は外国人も流石結構多いですね。英語ほとんど喋れませんが案内してあげないといけないのが日本人の辛いところ……。

ただ今回思ったのは基本的に名前のあるスポットからスポットへは基本的に長距離を歩いて移動することになるので歩く旅行が好きの人じゃないと鎌倉は大変だな…って感じでした。(一応、バスや貸し自転車などありますが…)

さて、今回は鎌倉でしたけど歴史的なところでは京都とかも過去に行ったことがありますけど自分達で行きたいと思って行かないとなかなか楽しめないタイプ(そうでなくても集団旅行とか自由が効きませんし)なので追憶の旅行みたいな感じで鎌倉のように昔行ったところへ行って見るのもいいな〜と思いました。因みに今回鎌倉は出かけたのは鎌倉駅の前にネットでバズったタピオカのお店があったから…であり大仏とか銭洗弁天はおまけです。



のんびり午後から出かけてたのもあって鶴岡八幡宮は諦めたのでまた機会があったら行ってみたいですね。一度も行ったことなかったの少しだけあのパリピが集まるので有名な由比ヶ浜にも行ってみたい。流石にサーフィンやってる人しか居ませんでしたが笑

次は普通じゃ食べなさそうなお飯紹介したいです笑



本紙はパシオン社員の親睦を目的にした社内報です。パシオンをご理解下さる関係者に限定配布しております。

本趣旨にもとるご利用、お取り扱いにご容赦いただきます様お願い致します。

〒221-0052

横浜市神奈川区栄町1-1
KDX横浜ビル7階

電話 045 (450)1921
FAX 045 (450)1922

ホームページもご覧ください
<http://www.pasion.co.jp>

発行責任者：Y・K